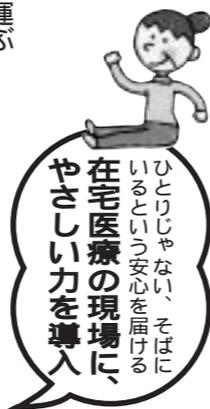




同社発行「月刊てあて」(平成21年8月創刊)では、毎号、患者さんを紹介している。
田代潔さん(左下)の素晴らしい笑顔は、読者を励まし、マッサージ師たちを励ましてくれる

在宅介護に風を運ぶ

株式会社てあて



わが国の人口推移によると、今から4年前の平成19年には、高齢社会から超高齢社会となり、65歳以上の総人口に占める割合が21%を超えた。超高齢社会に伴い、介護を必要とする人の数は、今後ますます増えるはずだ。

平成12年の4月1日に施行された介護保険制度だが、その背景には、受け入れる施設がパンク状態であるというせっぱ詰まった状況があった。この制度が、在宅介護を後押しする形にもなっている。

株式会社てあての創立は、平成15年。まさに、時代の要請に応えて誕生した形となった。現在、東京都下を中心に9カ所の治療院を拠点にして、月間2000人以上の人たちを相手に在宅マッサージを行っている。藤田真樹社長(55歳)は、「とにかく、風を入れる」と社員たちには言ってきた。

「我々、第三者の人間が『おはようございます、こんにちは』って家の中に入って行く。すると、すこく風が入るんです」

この風を運ぶのが、同社の大きな仕事だ。

事業/健康保険による在宅マッサージ業/中央在宅マッサージ
代表者/藤田真樹 所在地/昭島市松原町1-3-1 年商/4億円 従業員/110人
電話042-541-5899 <http://www.te-ate.com/>



医療保険による在宅マッサージで、
在宅介護のサポートをします。



いま、やさしさは力です。

藤田真樹社長の熱意は、人を動かす。理念に賛同した若者たちと、共に未来へ



「月刊てあて」の表紙には、島崎昌美氏の「絵手紙」。トウモロコシや菜の花など、季節がまるごと味わえる素晴らしい世界



施術向上を目指し、各治療院での「勉強会」も活発。業務後の緊張感から解放されて、明るい雰囲気、まずはミーティングから



「やさしさを人に地域にそして地球に」のキャッチフレーズが同社の心意気



毎回テーマを決めた施術練習や施術引き継ぎなど、常に向上心は忘れない。足へのアプローチなど、お互いの意見を交換しあう絶好の機会でもある

経営者の夢

こんな会社になりたい

藤田社長の座右の書は『日本でいちばん大切にしたい会社』(坂本光司著)である。「この本を読んだら、もう恥ずかしくなるくらいです。うちは、ここで紹介されているほどの素晴らしい会社ではありません。でも、この会社を日本からなくしちゃだめだと思われるほどの会社になりたいというのが、わたしの目標です。それから、社員を大事にする会社というのは、利益があがるということを実証したい」

「都内だと、移動は電車、バス、自転車になるでしょう。我々は軽自動車で行けるエリアに限っています。疲れたら、車の中で昼寝してほしいです」
「ここにちは！ 今日もまた、笑顔で風を届けるためにも、環境づくりに心を砕く。」

しんきんさんへのメッセージ / 「信用金庫がなければ、我々の意義あるこの仕事はできませんでした。信用金庫に育てられたおかげで、このビジネスができていますと感謝しています」

おぼやかくせわじゅう



建設業一筋だった田代さん。親方として現場を仕切っていた4年前の夏、建築現場での落下事故が原因で車椅子生活に。腕二本に頼るせいで、上半身に負担がかかる。「肩がこっちゃって」。担当マッサージ師(野口弘樹さん)の施術を受けながら、気持ちよさそう

風

「は、国家資格を持つマッサージ師たちが運ぶ。ともすれば閉塞感で押しつぶされそうになりがちな在宅介護だが、この風は笑顔と共にやってくる。患者さんにとっても、ご家族にとっても、外からの風は、大きな意味での命づなだ。マッサージ師を通して、社会とつながっていることがわかるからである。」

「やさしい心とあたたかな手」。これを持たなければ、いくら高度のマッサージ技術を持っていても、同社では一人前とは認められない。
「たとえば患者様の手をさするでしょう。五感が無くなっても、最後に皮膚感覚が残るんです。手を当てていると、身体が温かくなったり、血液の循環がよくなったりするんですね」

「そうならば、寝たきりで生じる床ずれや免疫低下を防ぐことができます。」
医療保険が使えるので、週に2回3回と利用できるのも大きな魅力のひとつ。たとえば1回あたりの費用は300円〜500円。1カ月で、数千円の支払いとなれば、負担も少ない。障害を抱える人だけでなく、病院が困難な高齢者にとっても、朗報である。

「今は、かろうじて一人でトイレに行ける人が、私どもが入ることによって、来月も来年もずっと一人でトイレに行けるとしたら、どんなに幸せなことでしょう」

患者さんの喜びと同時に、介護費用と医療費の削減も計り知れないと藤田社長。

「ところで、医療保険で在宅マッサージが受けられるサービスの存在を知る人はまだまだ少ない。」
「マッサージによって、食がすすんだ、質のよい睡眠がとれた、便秘が治ったという場合でも、血糖値や血圧などの数値には現れにくい。でも、その積み重ねで、病状の進行を遅らせ、かつ、生活の質が改善するということは十分あり得ますね。一人でも多くの方にこのサービスを届けたいというのが、私のいつわらざる気持ちです。これは会社の理念でもあります。私はここを強調したい。そこで私がしなくちゃいけないことは何かというと、理念に賛同してくれた社員とその家族の幸せを最大限に考えるということだと思っています」

「マッサージ師は、心身の疲労度の高い業務でもある。そのためにも、同社では働く環境づくりを大切にしてきた。一日8時間労働で、残業なし。週休2日制、法定有給休暇、社会保険のほか、施術に専念できる態勢づくりを心がけてきた。」

「国家資格者である社員たちに、120%の仕事に没頭してもらいたいと考えています」
治療院を都内に展開しない理由もそこにある。

「都内だと、移動は電車、バス、自転車になるでしょう。我々は軽自動車で行けるエリアに限っています。疲れたら、車の中で昼寝してほしいです」

「ここにちは！ 今日もまた、笑顔で風を届けるためにも、環境づくりに心を砕く。」

「ここにちは！ 今日もまた、笑顔で風を届けるためにも、環境づくりに心を砕く。」

「ここにちは！ 今日もまた、笑顔で風を届けるためにも、環境づくりに心を砕く。」

藤田真樹(ふじた まさき)社長。昭和31年福島生まれ。同社創立は、平成15年とまだ新しい。これまで、歯科技工士、陶芸家、広告制作者など、素晴らしい職人気質に畏敬の念を払い「職人が仕事に集中できる環境づくり」に徹してきた人生だった。同社創業もまた、いつでも、労働の喜びを感じつづけたいからこそその挑戦だ